

平成 28 年 第 32 週( 8月 8日~ 8月 14日) 奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター) http://www.pref.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183

今週の概要

• 小児科外来情報

# ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順	疾患名	奈	長良県	-1レ立7	中部	南部	
位	大忠石 	定点当たり	(前週)	増減	北部	中中	信件
1	感染性胃腸炎	3.29	(2.97)	<b>→</b>	4	<b>→</b>	•
2	流行性耳下腺炎	1.56	(2.03)	<b>→</b>	4	7	<b>^</b>
3	A群溶連菌咽頭炎	1.32	(0.68)	<b>→</b>	7	7	<b>^</b>
4	ヘルパンギーナ	1.06	(1.71)	4	•	•	•
5	突発性発しん	0.68	(O.44)	<b>→</b>	<b>↑</b>	7	•

発生状況: 大流行 流行 ゆや流行 少し流行 <u>散発</u> (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、ブやや増加、→横ばい、4やや減少、**→**減少

# ❖県内概況❖

流行性耳下腺炎(おたふく風邪、ムンプス)が例年の約3倍程度の多い状況が続いています。 流行性耳下腺炎は、症状が現れる前から感染力があり、また感染力も強いため、広がりやすいと されています。唯一の予防方法はワクチン接種です。

また、マイコプラズマ肺炎の流行が続いています。昨年の今頃から増加し、一旦春には低下しましたが、5月頃から多い状況が続いています。マイコプラズマ肺炎は、 $3\sim4$ 年に一度流行し、ちょうどオリンピックの開催時期と重なるため、「**オリンピック病**」とも呼ばれてきました。感染経路は、飛沫感染(咳、くしゃみなどから感染)や接触感染(病原体がついているものを触った手で鼻や目を触ることで感染など)で、特に患者との濃厚接触により感染するため、保育施設などの閉鎖施設内や家庭などで広がります。潜伏期間は $2\sim3$ 週間と長く、発熱や頭痛などから始まり、その $3\sim5$ 日後から乾いた咳が出始め、咳は徐々に強くなり、解熱後も長期間( $3\sim4$ 週間)続きます。抗菌薬で治療できますので、咳が続くときには医療機関を受診するようにしてください。

# **❖**小児科外来情報❖

### 北部地区(矢追医院)

お盆が近くなり、ヘルパンギーナや手足口病等の夏風邪は減少しています。潜伏期間が長いため、伝染性紅斑や流行性耳下腺炎の流行が続いています。感染性胃腸炎はノロウイルスと思われるものと成人ではトリ肉の生食によるカンピロバクタが半々程度あります。

# 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヘルパンギーナは減少。咽頭発赤、高熱、頭痛(呼吸器症状乏しい) のウイルス性咽頭炎が増加、夏カゼと考えている。

ムンプスが再度流行してきている。

hMPV の肺炎が散発、RSV の細気管支炎もあった。



### ❖定点把握感染症報告状況❖

		<u>ئاد</u>	部	中	部	南部			
保健所別報告数	奈良県		郡山						
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3		
インフルエンザ									
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2		
RSウイルス感染症	17 (0.50)	2 (0.22)		2 (0.29)	12 (2.00)		1 (0.50)		
咽頭結膜熱	10 (0.29)	5 (0.56)		2 (0.29)	(0.50)				
A群溶連菌咽頭炎	45 (1.32)	12	5 (0.56)	2	25		1 (0.50)		
感染性胃腸炎	112	21	15 (1.67)	27	49		(====/		
水痘	2 (0.06)	2	,		,				
手足口病	4 (0.12)	3			1 (0.17)				
伝染性紅斑	7 (0.21)	2	4 (0.44)				1 (0.50)		
突発性発しん	23	7	8 (0.89)	4 (0.57)	4 (0.67)				
百日咳									
ヘルパンギーナ	36 (1.06)	14 (1.56)	9 (1.00)	10 (1.43)			3 (1.50)		
流行性耳下腺炎	53	10	13 (1.44)	8 (1.14)	12 (2.00)		10 (5.00)		
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0		
急性出血性結膜炎									
流行性角結膜炎	6 (0.60)	1 (0.33)	3 (1.00)		2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1		
細菌性髄膜炎									
無菌性髄膜炎									
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)		2 (1.00)		4 (4.00)				
クラミジア肺炎									
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)									

平成 28 年 第 32 週 8 月 8 日 ~ 14 日

# ❖全数把握感染症報告状況❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山2件、中和1件)
3類感染症	細菌性赤痢1件(奈良市1)
4類感染症	E型肝炎1件(奈良市1)
5類感染症	アメーバー赤痢1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(中和1)

# ❖第 32 週のトピックス❖

国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室作成「妊婦パンフレット」「ジカウイルス感染症ってどんな病気?」(厚生労働省) <a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000129873.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000129873.pdf</a>

(注) [9,920KB]

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段:報告数

(下段):定点当たり報告数 報告数・定点数

#### 年齢別報告数

年齡別報告致																							
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	
インフルエンザ	男女																						7742 7517
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-							合計	累計
RSウイルス感染症	男女		2 4	1 4	4	2																7 10	174 152
咽頭結膜熱	男女			1	1	2 1	4	1														7 3	261 237
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	4	2	5 2			3		1 1	3		1							27 18	1090 896
感染性胃腸炎	男女		4	15 13		5 4	3 1	2 5		4 5		4 2	2 4	2	3 4							59 53	
水痘	男女	1											1									1	181 135
手足口病	男女			1 1					1 1													2 2	52 39
伝染性紅斑	男女				1 1	1	1	1 2														3 4	351 375
突発性発しん	男女		5 3	7 5	3																	12 11	300 278
百日咳	男女																						4
ヘルパンギーナ	男女			4	5 3	5 3			1	1		1	1	1								16 20	500 439
流行性耳下腺炎	男女			1	2	3 1	5 4	9 2	5 1	4	4	1 1	2 2		2 1							38 15	808 685
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-		合計	累計
急性出血性結膜炎	男女																						1 2
流行性角結膜炎	男女													1			1	1	1 1	1		3 3	45 51
年齡区分	年齡	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					合計	累計
細菌性髄膜炎	男女																						4 3
無菌性髄膜炎	男女																						3 2
マイコプラズマ肺炎	男女			1 1	3						1											5 1	77 70
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						53 45

# ◆注目疾患の動向◆全て定点当たり報告数















